

平成22年4月8日

《よこしん》景気動向調査結果について —平成22年1～3月期実績、4～6月期予想—

横浜信用金庫(横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】 前期予想を上回る改善、特に製造業の改善が目立つ

業況判断DIは-41.2と、前期(-50.2)より9.0ポイント改善しました。前期予想(-48.3)を上回る改善となっています。来期の予想値は-38.2と、さらに3.0ポイント改善を見込んでいます。

製造業は前期比13.0ポイント改善の-43.4となりました。特に、金属プレス・メッキ(-50.0)の回復(前期比+37.5)が際立っています。

非製造業は前期比7.0ポイント改善の-40.1となりました。特に、建設業(-33.1)で大きくマイナス幅が縮小(前期比+15.3)し、下げ止まり感が見られます。

【特別調査】 デフレ不況下の中小企業経営

- デフレが企業経営に与える影響は、「悪影響」が8.5割
- デフレ進展によるマイナス面は、「他社との価格競争の激化」
- デフレ対策は、「仕入原価の削減」と「販売価格・受注単価の引下げ」
- デフレ不況に対して政府のとるべき施策は、「金融対策」「税制改革」「需要創出策」

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先(法人・個人事業者) 770先

有効回答数：757先

調査方法：各営業店職員による聞き取り調査

調査時期：平成22年3月上旬

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗